



2016年3月18日

各位

会社名 株式会社 日本取引所グループ  
 代表者名 取締役兼代表執行役グループCEO 清田 瞭  
 (コード 8697 東証第一部)  
 問合せ先 広報・IR部長 多賀谷 彰  
 (TEL (03)3666-1361)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2015年9月24日に開示しました2016年3月期(2015年4月1日～2016年3月31日)の通期連結業績予想及び期末の1株当たり配当予想について、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 2016年3月期通期連結業績予想数値の修正(2015年4月1日～2016年3月31日)

	営業収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期 利益(※)
前回発表予想(A)	百万円 108,000	百万円 56,500	百万円 58,000	百万円 38,700	百万円 38,500	円 銭 70.12
今回修正予想(B)	114,500	66,000	67,500	45,000	44,700	81.41
増減額(B-A)	6,500	9,500	9,500	6,300	6,200	
増減率(%)	6.0%	16.8%	16.4%	16.3%	16.1%	
(参考)前期連結実績 (2015年3月期)	106,167	53,529	54,887	34,716	34,427	62.70

※ 当社は、2015年10月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しているため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前期及び当期の基本的1株当たり当期利益を算出しております。

なお、当該株式分割による株式総数の増加を考慮しない場合の基本的1株当たり当期利益は、前回発表予想では140円24銭、今回修正予想では162円82銭、前期連結実績では125円41銭となります。

## 2. 修正の理由

2015年9月24日に開示しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」(以下、「前回開示資料」といいます。)に記載した連結業績予想数値の前提となる通期の1日平均の売買代金・取引高について、最近の市況動向を踏まえ、株券等(※)を3.4兆円(前回開示資料比4,000億円増)、長期国債先物取引を35,000単位(同4,000単位減)、TOPIX先物取引を94,000単位(同6,000単位減)、日経平均株価先物取引(日経225mini先物取引高は日経平均株価先物取引における取引高へ換算)を231,000単位(同8,000単位増)、日経平均株価指数オプション取引(Weeklyオプション分を除く)を310億円(同40億円増)に見直すこととし、上記のとおり、通期連結業績予想を修正いたします。

※ 東証市場第一部・第二部、マザーズ、JASDAQ及びTOKYO PRO Market並びにETF、ETN及びREITに係る売買代金(立会内外含む)。

### 3. 配当予想の修正について

当社は、金融商品取引所グループとしての財務の健全性、清算機関としてのリスクへの備え、当社市場の競争力強化に向けた投資機会等を踏まえた内部留保の重要性に留意しつつ、業績に応じた配当を実施することを基本とし、具体的には、配当性向を60%程度とすることを目標としております。

上記方針のもと、2016年3月期の1株当たり配当予想について、今回の連結業績予想の修正により親会社の所有者に帰属する当期利益の増額が見込まれることから、以下のとおり修正いたします。

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末(※)	合 計
前 回 予 想		21.00	—
今 回 修 正 予 想		28.00	—
当 期 実 績	42.00		
前 期 実 績 (2015年3月期)	18.00	32.00	50.00

※ 2015年10月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております。  
 なお、当該株式分割による株式総数の増加を考慮しない場合の1株当たり期末配当金額は、前回予想では42円、今回修正予想では56円となります。

ご注意：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上